

(様式第1号)

平成31年1月22日

議会報告・意見交換会報告書

天童市議会議長 様

代表者 村山 俊雄  
記録者 笹原 隆義  
班 員 伊藤 護國  
〃 松田 光也  
〃 遠藤 喜昭



議会報告・意見交換会を開催したので、その概要を下記のとおり、報告します。

記

1 日 時	平成30年11月15日（木）午後7時～午後8時30分	
2 会 場	成生地区公民館	
3 欠 席 議 員	なし	
4 参 加 者 数	29名	
5 報 告 内 容		
6 意見・要望等	市 民	議 員
	1 小学生の通学路  通学路の変更は防犯灯や家がないとできないと聞いた。しかし農繁期は車がよく通っている。  また特に冬場は危ないので早急に安全な通学路に変更してほしい。	通学路の変更には、民家がないとダメなど要件があると聞いている。教育委員会の意見として安全性を確保できないと難しい。最終的には校長が判断することで、この件は、現在は現状のままでいくとの学校の判断と聞いている。
	2 上山口 メイクマウンテンの汚染水  伏流水の関係で成生が大きく関係する。イバラトミヨへの影響が懸念。  また地下水を使っている家が多い。ここも影響が出る恐れが心配である。	碎石事業だけ行いたいとメイクマウンテンの意向。  県は、地元の同意が必要とのスタンス。  市の環境を守る会を設立して、県を巻き込んで詰めてきた。  今後最終的な話の住民説明会を行う。

	<p>現状を聞きたい。</p> <p>成生・高木・大清水に伏流水として届くには数年はかかる。 地下水の検査をするなら、広範囲の検査が必要である。</p>	<p>川の水質検査も年4回行う。 地下水の水質検査も行う。細かい検査場所はこれから。 しっかり検査して被害が出ないような協定書を作ると聞いている。</p>
	<p>3 飛行機を利用する方が増えていっている。 札幌便の運航ルートはどうなっているのか。 運行ルートで小学校を旋回してもいいのか。危険ではないか。</p>	<p>山形空港事務所へ調査の結果、札幌便に限らず山形空港では、離陸時は北に向かって、着陸時は上山市上空あたりから高度を落し、南から進入している。 また、小学校の上空を飛行することはないとのことである。 以上の事を確認し、学校上空の飛行については安全な飛行を要請する。</p>
	<p>4 耐震補強に関して 通学路のブロック塀 独居老人宅で今回の検査でひっかかり、市から対応してほしいと言われたとの事。そのため不安になっている。行政の対策は。</p>	<p>国から補助金を出すと言われており、市もその基準に沿って補助します。 今年度については、遡って基準を適用して補助すると聞いております。</p>
	<p>5 高速道路、米沢の道の駅が賑わっている。天童にもできてほしい。 わくわくランドの道の駅があるが、道の駅らしくない。 高速道路のインター付近にできれば道の駅の活用が増えるのではないか。</p>	<p>スマートインターチェンジを作るよう進めている。 山形・上山・天童が進めている。  活性化についても考えていかなければならない。国交省への働きかけもしているので今後も努力していく。</p>
	<p>6 雨の災害が多い。小関の側溝、泥がたまっている。雨で詰まって</p>	<p>放射能問題もあるので、どうしても溜まって難しいなら建設課へ</p>

	側溝から溢れている。	相談してほしい。
	7 大清水の堤防について 大雨での氾濫など危ないから、 早急に対応してほしい。	再度、担当課へ要望する。
7 所 感	<p>30名近くも来てくれて会場が満席状態であった。ここ最近の議会報告会の参加人数が少ないだけに、とても新鮮に感じた。</p> <p>今後も継続的に多くの方に参加してもらえる対策が必要だが、やはり人数が多い事での、議員も市民も活発に意見を言える機会は大事であろう。</p>	